

外科

《概要》

外科は、消化器外科、乳腺・内分泌外科、小児外科領域の専門医療を担当している。2009年4月1日に、藤井 仁 Dr. が大阪大学外科学講座消化器外科より、奥田直樹 Dr. が麻生飯塚病院より、新里藍 Dr. が浦添総合病院より赴任した。2009年3月31日に中川 朋 Dr. 杉村啓二郎 Dr. が大阪大学外科学講座消化器外科へ、楠本英則 Dr. が国立病院機構刀根山病院呼吸器外科に転任した。2010年3月31日現在、以下9名の医師で手術を遂行した。

伊豆蔵正明（昭和52年卒） 病院長
位藤俊一（昭和59年卒） がん治療センター長兼外科部長
水野 均（昭和60年卒） 消化器センター長兼外科部長
飯干泰彦（昭和62年卒） 外科部長
山村憲幸（平成6年卒） 外科医長
藤井 仁（平成10年卒） 外科医長
藤井亮知（平成14年卒） 外科医員
岸本朋也（平成16年卒） 外科医員
奥田直樹（平成20年卒） 外科非常勤医員

《実績》（2009.1.1～2009.12.31）

1. 頭頸部		5. 大腸・小腸	
(1) 甲状腺癌	14	(1) 結腸癌	36
(2) その他	2	(2) 直腸肛門癌	40
小計	16	(3) 大腸悪性その他	1
		(4) 大腸ポリープ	1
2. 乳腺・胸壁		(5) 特発性大腸穿孔	10
(1) 乳腺良性腫瘍	12	(6) 肛囲膿瘍	1
(2) 乳癌	68	(7) 痔瘻	3
(3) その他	2	(8) 痔核	7
小計	82	(9) 虫垂炎	29
		(10) その他	6
3. 食道		内 腹腔鏡下手術	27
(1) 悪性腫瘍	6	小計	134
(2) アカラシア	2		
小計	8	6. 肝	
		(1) 肝細胞癌	8
4. 胃・十二指腸		(2) 転移性肝癌	6
(1) 胃潰瘍	4	(3) その他	1
(2) 十二指腸潰瘍	5	小計	15
(3) 胃良性腫瘍	1		
(4) 胃癌	46		
内 腹腔鏡下手術	14		
小計	56		

7. 胆道		10. 門脈圧亢進症	
(1) 胆石・胆嚢炎	55	(1) その他	1
(2) 総胆管結石	4	小計	1
(3) 胆嚢癌	2	11. ヘルニア	
(4) 胆嚢腺筋症	2	(1) 外鼠径ヘルニア	131
(5) 胆嚢ポリープ	3	(2) 内鼠径ヘルニア	24
内 腹腔鏡下手術	54	(3) 大腿ヘルニア	3
小計	66	(4) その他	2
8. 膵		内 腹腔鏡下手術	36
(1) 良性疾患	2	小計	160
(2) 膵癌	5	12. 腹壁・末梢血管・後腹膜・外傷・他科手術・その他	
(3) その他	2	(1) 腹壁癒痕ヘルニア	9
小計	8	(2) 臍ヘルニア	6
9. イレウス		(3) 他科	30
(1) イレウス	15	(4) その他	17
内 腹腔鏡下手術	1	小計	62
小計	15	総計	623

《業績》

(1) 原著、総説、著書(2009.4～2010.3)

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	乳腺領域における3次元、4次元超音波の現状と可能性	位藤俊一	Jpn J Med Ultrasonics	36	657-667	2009
2	超音波造影剤の応用	位藤俊一	超音波造影剤の応用	54	1355-1360	2009
3	乳癌に対するラジオ波焼灼療法の現状と今後の展望	位藤俊一	医学のあゆみ	231	235-238	2009
4	手探りで行った初めての乳がんラジオ波焼灼療法	位藤俊一	オンコロジーエポック	7	20-21	2009
5	超音波ガイド下吸引式組織生検(バードバコラ)	位藤俊一	乳腺超音波ガイド下インターベンション手技マニュアル, アトムス, 日本乳腺甲状腺超音波診断会議 インターベンション研究班	1	32-38	2009
6	乳癌に対するラジオ波焼灼療法	位藤俊一	臨床 clinical		115-119	2010
7	アミノ酸によって惹起される細胞内シグナルと大腸菌由来のアスパラギナーゼ - Bacterial Translocationもうひとつのメカニズム -	飯干泰彦 水野 均 大野 昭 住井論美 水谷珠真 岸本朋也 藤井亮知 山村憲幸 位藤俊一 伊豆蔵正明	静脈経腸栄養	24	935-939	2009
8	術前敗血症をきたした中心壊死を伴う小腸 GIST の1例	友國 晃 水島恒和 水野 均 今北正美 岩瀬和裕 伊豆蔵正明	日本内視鏡外科学会雑誌	14	193-197	2009
9	十二指腸癌術後多発大腸脈管性転移の1例	中川 朋 水島恒和 位藤俊一 水野 均 宇田津有子 杉村啓二郎 友國 晃 今北正美 岩瀬和裕 伊豆蔵正明	日本消化器外科学会雑誌	42	31-35	2009

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
10	総胆管原発炎症性筋線維芽細胞性腫瘍(炎症性偽腫瘍)の1切除例	楠本英則 水島恒和 位藤俊一 水野 均 宇田津有子 宮寄安晃 中川 朋 今北正美 岩瀬和裕 伊豆蔵正明	日本消化器外科学会雑誌	42	43-48	2009
11	Retroperitoneal abscess cured by percutaneous drainage with ultrasonography.	Kubota Y, Ito T, Iiboshi Y, Izukura M.	J Med Ultrasonics	37	63-65	2010

(2) 学会研究会報告(2009.4~2010.3)

番号整理	演題	発表者	学会・研究会名	年月日
1	Percutaneous radiofrequency ablation for primary breast cancer with overlapping technique.	Ito T. Mizuno H. Yamamura N. Sugimura K. Fujii R. Kusumoto H. Nakagawa T. Kishimoto T. Izukura M.	Algorithm forms of breast cancer treatment	2009. 4. 16-18
2	RFA in the Breast	Ito T.	Japan Korea Image guided tumor ablation meeting (1)	2009. 9. 12-13
3	超音波ガイド下バコラ(VACORA)生検	位藤俊一 水野 均 飯干泰彦 山村憲幸 杉村啓二郎 藤井亮知 楠本英則 中川 朋 岸本朋也 今北正美 伊豆蔵正明	日本乳腺甲状腺超音波診断会議(22)	2009. 4. 25-26
4	これでわかる! 表在領域の最新の診断と治療	位藤俊一	日本乳腺甲状腺超音波診断会議(22)	2009. 4. 25-26
5	乳腺腫瘍における B-CADTM を用いた BI-RADS レポートシステム	位藤俊一	日本乳癌学会学術総会(17)	2009. 7. 3-4
6	B-CAD を用いた乳腺腫瘍診断の試み	位藤俊一	日本乳癌検診学会総会(19)	2009. 11. 5-6
7	造影エコーを施行した多発甲状腺癌の一例	山村憲幸 位藤俊一 水野 均 飯干泰彦 杉村啓二郎 藤井亮知 中川 朋 楠本英則 岸本朋也 今北正美 伊豆蔵正明	日本乳腺甲状腺超音波診断会議(22)	2009. 4. 25-26
8	化学療法前後において造影エコー検査を施行した pCR の一例	山本有佳理 位藤俊一 水野 均 飯干泰彦 山村憲幸 杉村啓二郎 楠本英則 中川 朋 岸本朋也 櫻井康介 今北正美 伊豆蔵正明	日本乳腺甲状腺超音波診断会議(22)	2009. 4. 25-26
9	B-CAD を用いた BI-RADS レポートシステム(続報)	阿部弥生 位藤俊一 伊豆蔵正明 小笠原正文 中村達司	日本乳腺甲状腺超音波診断会議(22)	2009. 4. 25-26
10	十二指腸乳頭部癌を合併した膵管内乳頭粘液性腺癌の1切除例	山村憲幸 岸本朋也 中川 朋 楠本英則 藤井亮知 杉村啓二郎 飯干泰彦 水野 均 位藤俊一 今北正美 伊豆蔵正明	日本消化器病学会総会(95)	2009. 5. 7-9
11	下血を契機に発見された多発皺壁型腸管悪性リンパ腫の1例	藤井亮知 奥田直樹 新里 藍 岸本朋也 藤井 仁 山村憲幸 飯干泰彦 水野 均 位藤俊一 伊豆蔵正明 今北正美	日本消化器病学会総会(95)	2009. 5. 7-9

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 ・ 研 究 会 名	年 月 日
12	術前化学療法が奏効し治癒切除できた局所進行膵癌の1例	杉村啓二郎 水野 均 位藤俊一 飯干泰彦 山村憲幸 藤井亮知 楠本英則 中川 朋 岸本朋也 伊豆蔵正明	日本消化器病学会総会(95)	2009. 5. 7-9
13	閉鎖孔ヘルニア術後にイレウスを契機として発見された肺癌小腸転移の1例	岸本朋也 水野 均 位藤俊一 飯干泰彦 藤井亮知 杉村啓二郎 中川 朋 楠本英則 伊豆蔵正明	日本消化器病学会総会(95)	2009. 5. 7-9
14	外観上創痕なく臍下部より摘出し得る新生児卵巣嚢胞摘出術	飯干泰彦 岸本朋也 楠本英則 中川 朋 杉村啓二郎 藤井亮知 山村憲幸 水野 均 位藤俊一 岡田敏弘 田附裕子 伊豆蔵正明	日本小児外科学会学術集会(46)	2009. 6. 1-3
15	後腹膜膿瘍を来した小児急性虫垂炎の一例	久保田康彦 飯干泰彦 位藤俊一 水野 均 山村憲幸 杉村啓二郎 藤井亮知 中川 朋 楠本英則 岸本朋也 伊豆蔵正明	日本小児外科学会学術集会(46)	2009. 6. 1-3
16	進行再発乳癌に対して高容量TremifeneとCapecitabineの併用が有効であった1例	岸本朋也 位藤俊一 水野 均 飯干泰彦 山村憲幸 杉村啓二郎 藤井亮知 楠本英則 中川 朋 伊豆蔵正明	日本乳癌学会学術総会(17)	2009. 7. 3-4
17	ラジオ波焼灼療法(RFA)施行後局所再発の1切除例	村岡玄哉 伊豆蔵正明 位藤俊一 水野 均 中川 朋	日本乳癌学会学術総会(17)	2009. 7. 3-4
18	膀胱癌による転移性大腸癌の1例	楠本英則 水野 均 位藤俊一 飯干泰彦 山村憲幸 杉村啓二郎 藤井亮知 岸本朋也 伊豆蔵正明	日本消化器外科学会	2009. 7. 16-18
19	魚骨による小腸穿孔に対して腹腔鏡補助下小腸部分切除を施行し得た1例	岸本朋也 水野 均 山村憲幸 飯干泰彦 藤井 仁 藤井亮知 新里 藍 奥田直樹 伊豆蔵正明	近畿内視鏡外科研究会(22)	2009. 9. 26
20	超音波検査にて急性虫垂炎と鑑別した腸間膜リンパ節炎の3例	久保田康彦 飯干泰彦 位藤俊一 水野 均 山村憲幸 新里 藍 岸本朋也 藤井亮知 藤井 仁 伊豆蔵正明	日本超音波医学会関西地方会学術集会(36)	2009. 10. 3
21	術前超音波診断が有用であった小児虫垂炎の3例	沼田壽子 位藤俊一 飯干泰彦 水野 均 山村憲幸 藤井 仁 藤井亮知 中村雅美 岡 和子 伊豆蔵正明	日本超音波医学会関西地方会学術集会(36)	2009. 10. 3
22	多発する大腸癌に対し、超音波診断を施行した一切除玲	中村雅美 位藤俊一 水野 均 藤井亮知 今濱麻美 沼田壽子 柴川智子 岡 和子 今北正美 伊豆蔵正明	日本超音波医学会関西地方会学術集会(36)	2009. 10. 3

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
23	術前に造影エコーで乳管内進展を評価した乳癌の一切除例	奥田直樹 位藤俊一 水野 均 飯干泰彦 山村憲幸 藤井 仁 藤井亮知 岸本朋也 新里 藍 伊豆蔵正明	近畿外科学会(186)	2009. 11. 7
24	腹腔鏡下胆嚢摘出術後に発症した二次性硬化性胆管炎の一例	小北晃弘 奥田直樹 新里 藍 岸本朋也 藤井亮知 藤井 仁 山村憲幸 飯干泰彦 水野 均 位藤俊一 伊豆蔵正明 今北正美	近畿外科学会(186)	2009. 11. 7
25	筋幕閉鎖を行った 12 mm ポート孔に発生したポートサイトヘルニアの1例	杉村啓二郎 水野 均 位藤俊一 飯干泰彦 山村憲幸 藤井亮知 楠本英則 中川 朋 岸本朋也 伊豆蔵正明	日本内視鏡外科学会総会(22)	2009. 12. 3-5
26	大腸癌:最新の治療	水野 均	臨床集談会(122)	2010. 2. 25
27	小腸管腔内液相における界面バリアの栄養法による変化	飯干泰彦 水野 均 大野 昭 住井論美 水谷珠真 川西史子 新里 藍 奥田直樹 岸本朋也 藤井亮知 藤井 仁 山村憲幸 位藤俊一	日本静脈経腸栄養学会(25)	2010. 2. 25-26

(3) 学術講演(2009.4~2010.3)

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	スニチニブ抵抗性 GIST に対するイマチニブの再使用経験	水野 均 山村憲幸 位藤俊一 飯干泰彦 藤井 仁 藤井亮知 奥田直樹 今北正美 伊豆蔵正明 岸本朋也	近畿 GIST 研究会(12)	2009. 4. 25
2	大腸癌の最近の治療	水野 均	泉佐野・泉南薬剤師会合同勉強会(121)	2009. 6. 11
3	当院における消化管悪性リンパ腫の手術症例	藤井亮知	りんくう消化器病研究会(15)	2009. 6. 13
4	乳がん術前内分泌療法の課題と将来展望	位藤俊一	Breast Cancer Expert Conference	2009. 10. 3
5	栄養素であるアミノ酸のもう一つの役割ーアミノ酸の薬理学的作用についてー	飯干泰彦	泉州地区 NST 研究会(9)	2009. 10. 31
6	食道アカラシアの一手術例	山村憲幸	りんくう消化器病研究会(16)	2009. 10. 31
7	当院における消化管悪性リンパ腫の手術症例	藤井亮知	りんくう消化器病研究会(16)	2009. 10. 31
8	切らずに治す乳がんラジオ波治療	位藤俊一	乳がん最新治療と乳房再建	2009. 12. 12
9	乳腺診断における最新技術による新たな展開	位藤俊一 矢野雅彦	日本乳癌画像研究会	2010. 3. 20-21
10	単孔式腹腔鏡下手術の工夫	水野 均	南大阪で内視鏡を極める会(10)	2010. 3. 26

(4) 院内研究活動(2009.4~2010.3)

番号整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	乳癌の治療について	伊豆蔵正明	2009. 4. 19